

令和3・4年度 授業改善推進プラン

学力向上を図るための全体計画

教育目標

子供たちの豊かな人間性の伸長を図るとともに、21世紀を生きる人間としての資質・能力を高めるために、次の教育目標を設定した。

◎かしこく ・なかよく ・たくましく



学校の教育目標を達成するための基本方針（学力向上）

児童に育成する資質・能力・態度を明らかにし、ホールスクールアプローチとカリキュラム・マネジメントの推進により実現を図る。

- 授業改善推進プランに基づいた指導方法の工夫改善を図り、児童の学習意欲を高めながら基礎・基本の徹底を図るとともに、地域未来塾を活用し、基礎学力を定着させる。
- 読書指導によって児童の読書意欲を高め、読解力の向上を図るとともに、全教科・領域と連携して言語活動を充実させ、問題解決力に不可欠な思考力、判断力、表現力の向上を図る。
- ユネスコ・スクールとして総合的な学習の時間を中心とした全教育活動において、多様な体験活動や人材、他地域、海外等との「かかわり」や「つながり」を尊重したE S Dを進め、児童の主体的・創造的な学習意欲や課題発見力を高める。
- 何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるかを明確にした教育活動・E S Dを実践し、多面的な思考力・問題解決力を高め、SDG sに資する人材育成を行う。
- 全校児童の「自主学习」により、家庭と連携した個に応じた家庭学習を定着させ、家庭学習を児童・保護者へ周知することによって、児童の学習意欲を喚起する。



本校における児童に身に付けたい力

- 多面的思考力 ○ 問題解決力



本校の授業改善に向けた視点と方策

教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に沿った授業時数の確保のための年間指導計画、週時程の工夫 ○全校一斉朝読書の実施 ○週3回の地域未来塾（モーニング・プラス）での補習授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者、地域に関わられたコミュニティー・スクールとしての学校 ○学習指導要領の内容に沿った評価規準、評価基準の提示と明確化 ○指導と評価の一体化 ○思考力・判断力・表現力の見取り方の工夫 ○児童の変容を見取る工夫 ○児童意識調査等の実施による、児童の意欲や願いの把握と細やかな対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着を図り、個を生かす教育の推進 ○指導方法工夫改善加配を活用した学力向上委員会の設置と全学年算数習熟度別指導の実施 ○東京ベーシック・ドリルを活用した反復練習 ○言語活動の充実と問題解決学習の推進 ○週単位の授業計画の作成と実施・振り返り ○教職員が協力・協調できる体制作りとO J T（南鶴道場）の実施による指導力の向上 ○外部講師や地域の人材の積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業実践交流週間での互いの授業の学び合いによる指導力の向上 ○校内研究による授業力の向上と指導法の改善 ○夏季休業を利用した研修会の実施 ○校内研究「自ら課題を見付け、自ら学び、発信していくことができる児童の育成」による研究の推進 ○学習指導要領に対応する指導計画の作成、修正

